



京丹後市

Kyotango City

商工会だより

協働・共感で響きあう
まちづくりをLEADする
京丹後市商工会

2
Vol.87

Kyotango City Society of Commerce & Industry

京丹後市商工会 〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1
●TEL.0772-62-0342 ●FAX.0772-62-3553
●URL : <http://kyotango.kyoto-fsci.or.jp>

京都府商工会連合会主催

関西学研都市 ビジネスマッチング 2015 が開催されました

2月4日(水)・5日(木) けいはんなプラザ イベントホール(京都府相楽郡精華町)におきまして、「関西学研都市ビジネスマッチング2015」が開催されました。

この事業は、京都府内の「ものづくり企業」と研究機関が集積する関西文化学術研究都市地域に所在する企業等との商談会を開催することにより、新たなビジネスの創出に資することを目的に開催されました。

当日は、京都府内の製造業を中心とした75企業及び団体が出展され、京丹後市内からも7企業及び団体に出席いただき、ご来場いただいた研究機関、企業、商社等との活発な商談が行われました。



新春 経済講演会 [大入り満員でした!]



2月2日(月)、アミティ丹後視聴覚研修室において、『たかじんのそこまで言って委員会』他各種メディアでおなじみの東京新聞・中日新聞論説副主幹ジャーナリスト長谷川幸洋氏を講師に迎え、新春経済講演会を開催しました。

激動する政治・経済の行方～これからの日本を展望する～をテーマに、今後の日本のありかたや企業経営に影響する政治・経済動向などに

ついて、明確で分かりやすいご講演をいただきました。

「消費税の増税後、景気が良くなり心配していたが、年明けからは非常にようになってきていると感じている。」「ベースアップもあり今年は期待してもよいのではないかと。」「食べ物やお酒等おいしいものがある人には人は集まる。」等々をお話いただきました。

靴下屋を成功に導いた経営哲学

21世紀に伝えるものづくりの魂



経済講演会を開催しました

1月23日(金) タビオ株式会社代表取締役会長の越智直正氏を講師に迎え、経済講演会を開催。「靴下屋を成功に導いた経営哲学～21世紀に伝えるものづくりの魂～」と題し、「お客様の足にやさしい靴下」を追求しつづけ、世界に認められる企業となられた、その軌跡と経営哲学について、ご講演をいただきました。

講演会では、ご自身の半生を振り返られ、丁稚時代のエピソードや気づき、突然の解雇、そして独立開業、大阪の商人(おきんど)としてのプライド、パン屋や本屋のシステムをヒントに独自の靴下在庫管理システムを構築、売れ筋商品を常に販売店に供給できるシステムの改良を重ね、業界トップに登りつめた話等々。その時に直面した課題をどう捉え、どのように考え、どう行動していったかを分かりやすくお話し頂きました。

解決できない問題は無い。人間、考えたことは実現できる。実現できないことは考えない。出来るから考える…経営者の仕事は夢を語ることだと…力強くご講演頂きました。

IT講習会



1月28日、29日の2日間にわたり、(有)アイ・リンク・コンサルタントの加藤忠宏氏をお招きし、「動画を使ったプロモーション戦略」と題し、Facebook、Webと連携したプロモーション方法について、講習会を行いました。

今回の講習会では、お店にくるお客さまに対して、クオリティの高い商品やサービスを紹介するために、動画配信を活用し、効果的な情報発信する手法を学んでいただきました。

まず、FacebookやWeb、ブログをいろいろな視点から比較し、それぞれの特性を学びました。カメラを使った動画の撮影方法では、微速度撮影などの手法にも触れ、動画の見せ方についても学びました。動画などの素材をもとにWindowsムービーメーカーを使用した動画編集では、BGMの入れ方、コメントの入れ方などを学び、最後にその動画をYoutubeへアップロードする方法やFacebookに埋め込む方法などを教えていただきました。

これらの動画を活用することにより、自社の商品・サービスを「より魅力的」に、「より効果的」にPRしていただけるよう期待したいと思います。

ラッピング講習会



2月6日久美浜支所において、ラッピングコーディネーター「くらのう さとこ」氏をお招きして、「お客様と心をつなぐ楽しいラッピング講座」を14名の方にご参加いただき開催しました。これは、実践的に学べる講習会事業として、ラッピング技術の向上により、顧客満足を増やし、集客力や売上アップを支援し、個店の集客及び販売促進につなげることを目的に開催させていただきました。

まず、教材の小箱2種類を用いて、包装紙による「合わせ包み」、「ななめ包み」、「スクエア包み」の基本と慶弔における使い分けや、リボンの「十文字掛け」、「斜め掛け」、紙袋における基本を一通り学んだあと、各自で持参いただいた自社商品を実際に包む実践練習を行いました。自社製品は、教材と違い、商品の大きさ、形は多種多様で、受講者は、試行錯誤しながら、講師にコツを指導していただきながら、包む練習をしました。

今回の講習会は、包むことはもちろんのこと、包んだ後の物を受け取るお客様への配慮も交えた大変有意義な内容であり、受講者の皆さんには、ぜひこのラッピングを今後のお仕事に活用していただけたらと思います。

